

TV(1-12ch)/FM/AM ラジオ

取扱説明書・保証書

お買い上げいただきありがとうございます。

△警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。

ICF-SX45V

Sony Corporation ©1995 Printed in Japan

ラジオ
ICF-SX45V
T10-1001A-1

主な特長

- ・テレビ放送の音声が楽しめます。
- ・電波の弱い地域でより明瞭なチューニングが実現できる高感度設計。
- ・節電のため自動的に電源が切れるパワーオートオフ機能。

使用上のご注意

取り扱いについて

- ・次のような場所には置かないでください。
温度が非常に高い所(40以上)や低い所(0以下)
直射日光のある場所や暖房器具の近く。
風呂場など湿気の多い所。
窓を閉めきった自動車内(特に夏季)、ほこりの多い所。
- ・落としたり、強いショックを与えたましください。故障の原因になります。
- ・汚れたときは、柔らかい布でからぶきしてください。シンナーやベンジンは表面をいためますので使わないでください。
- ・キャッシュカード、定期券など、磁気を利用したカード類をスピーカーに近づけないでください。スピーカー内部の磁石の影響でカードの磁気が変化し、使えなくなることがありますのでご注意ください。
- ・イヤーレシーバーをご使用中、肌に合わないと感じたときは早めに使用を中止して医師またはテクニカルインフォメーションセンター、お客様ご相談センターに相談してください。
- ・このラジオのテレビ音声回路は、FM放送の受信回路と兼用であるため、一部の地域では、テレビ2または3チャンネルの音声を受信中、FM放送が混じって聞こえることがあります。このときは、テクニカルインフォメーションセンターまたは、お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。
- ・防滴機構になつていませんので雨や雪、水しぶきのかかる所では充分にご注意ください。

万一故障した場合は、内部をあけずに、テクニカルインフォメーションセンターまたはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご相談ください。

主な仕様

受信周波数	TV: 4-12チャンネル FM: 76~108 MHz (TV1-3チャンネル) AM: 530~1,605 kHz
スピーカー	直径約3.6cm丸型、7.2Ω 1個
電源	DC 3V、単4形乾電池2本
出力端子	⑧(イヤホン)端子(Φ2.5 mm) 超ミニジャック)1個
実用最大出力	50mW (JEITA*)
パワーオートオフ機能	約80~150分
最大外形寸法	約61×105×20.1 mm(幅/高さ/厚さ) (JEITA)
質量	約94 g(乾電池、イヤーレシーバー含む)

* JEITA(電子情報技術産業協会)規格による測定値です。

付属品

- ソニー単4形乾電池(お試し用)(2)
- イヤーレシーバー(1)
- キャリングケース(1)
- 取扱説明書・保証書(1)
- ソニーご相談窓口のご案内(1)

* 付属の乾電池はお試し用です。購入する場合はソニーアルカリ乾電池をおすすめします。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります
が、ご了承ください。

保証書とアフターサービス

保証書

- ・所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- ・保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

調子が悪いときは

この説明書をもう1度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは

テクニカルインフォメーションセンターまたはお買い上げ店、添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではラジオの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能時期とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によつては修理可能の場合がありますので、テクニカルインフォメーションセンターまたはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご相談ください。

ご案内

ソニーではお客様技術相談窓口として
「テクニカルインフォメーションセンター」
を開設しています。
お使いになってご不明な点、技術的なご質問、故障と思われるときのご相談は下記までお問い合わせください。

テクニカルインフォメーションセンター
電話: 048-794-5194
受付時間: 月~金 午前9時から午後6時まで
(祝日、年末年始、弊社休日を除く)
ご相談になるときは次のことをお知らせください。
• 型名
• ご相談内容: できるだけ詳しく
• お買い上げ年月日

<http://www.sony.co.jp>

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ

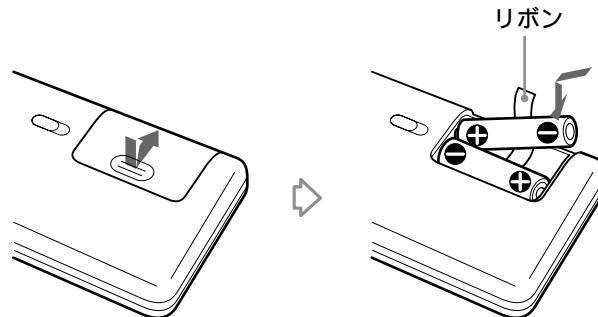
- ナビダイヤル 0570-00-3311
(全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます)
- 携帯電話・PHSでのご利用は 03-5448-3311
- Fax 0466-31-2595

受付時間:
月~金
9:00~20:00
土・日・祝日
9:00~17:00

この説明書は100%古紙再生紙とVOC(揮発性有機化合物)ゼロ植物油型インキを使用しています。

乾電池を入れる

ソニー単4形乾電池2本を、 $+$ と $-$ の向きを正しく入れます。



1 電池入れのふたを開ける。

2 乾電池を入れる。
電池の下にリボンをひいておくと取り出すときに便利です。

3 ふたを閉める。

乾電池の持続時間

—ソニー単4形(R03)マンガン乾電池使用時(JEITA*)
(単位: 約 時間)

放送の種類	持続時間	
	イヤーレシーバー使用時	スピーカー使用時
TV放送	25	12
FM放送	40	16
AM放送	60	18

* JEITA(電子情報技術産業協会)規格による測定値です。実際の電池持続時間は、使用する機器の状況により変動する可能性があります。

乾電池の交換時期

乾電池が消耗していくと音が小さくなったり、ひずんだりします。その場合は、乾電池を2本とも新しいものと交換してください。

ラジオの電源が突然切ってしまったときは

このラジオは、消し忘れによる電池のむだな消耗を防ぐために自動的に電源が切れるようになっています(パワーオートオフ機能)。

電源が切れるまでの時間は電池残量により異なり、約80~150分後です。

電源が切れた後、さらにお聞きになりたいときは、もう一度電源(POWER/AUTO OFF)ボタンを押して電源を入れてください。

電源(POWER/AUTO OFF)ボタンを押しても電源が入らない場合や、パワーオートオフ機能が働いていないのに電源が切れる場合は、電池が消耗していますので新しい電池と交換してください。

受信状態をよくするには

TV/FM放送の場合

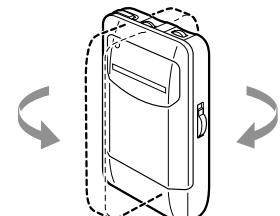
イヤーレシーバーのコードがアンテナとして働きます。
コードができるだけ長くのばしてお使いください。
TV放送、FM放送をスピーカーから聞く場合も、イヤーレシーバーのコードがアンテナとして働くので、必ずイヤーレシーバーをつないでください。



• 乗り物やビルの中では電波が弱められますので窓際でお聞きください。

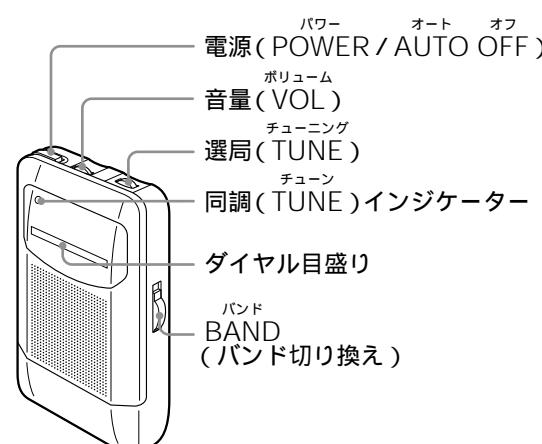
AM放送の場合

AMアンテナは内蔵されているので、ラジオ本体の向きによって受信状態が変わります。最も良く受信できる向きにしてお聞きください。



ラジオを聞く

スピーカーまたは付属のイヤーレシーバーで聞くことができます。



1 イヤーレシーバーで聞く場合、(2)(イヤホン)端子にイヤーレシーバーをつなぐ。

スピーカーでTV放送、FM放送を聞く場合も、イヤーレシーバーのコードがアンテナとして働くので、必ずイヤーレシーバーをつないでください。

2 電源(POWER/AUTO OFF)ボタンを押して電源を入れる。

3 (2) / (イヤホン / スピーカー)切り換えスイッチで(2)または(スピーカー)を選ぶ。
(2)に合わせるとイヤーレシーバーから、(スピーカー)に合わせるとスピーカーから音が聞こえます。

4 BANDスイッチでTV、FM、またはAM放送を選ぶ。
TV(4-12ch)放送を聞く場合はTVに合わせてください。
また、TV(1-3ch)放送を聞く場合はFMに合わせます。

5 選局(TUNE)つまみを回して聞きたい放送局を選ぶ。
放送を受信すると同調(TUNE)インジケーターが点灯します。

6 音量(VOL)つまみを調節する。

電源を切るときは

電源(POWER/AUTO OFF)ボタンをもう一度押します。